常磐毎日新聞

十一月十八日　金曜

常磐毎日印刷株式會社
常磐毎日新聞社

ボタ炭の山を
種にして闇取引を働く
驚くべき三重賣りの惡行爲

最近の深刻な石炭飢饉に東京方面から多數のブローカーが入込み地元の性惡組と結托して惡辣な手段を逞しゝ闇取引を行つて居る事實が專らである處から平署の經濟警察が緊張し捜査の手を伸した處本郡箕輪村居住熊本縣生れ石炭商滑水丈平(五四)の石炭にからむ詐欺行爲が白日下に暴露した

同人は同村佐久間炭鑛のボタ炭の山を二百五十圓で買受け是れを東京市淀橋の渡邊石炭商會に五百五十圓で賣る約束をしたが同商會が未だ引取らぬのを奇貨とし荒川區南千住石炭商櫻井又藏氏に對し一噸十八円の契約で二重賣りをし內金として七千百圓をせしめ同樣手段で本縣石川町中野直太郎氏に手付金六百五十圓で三重賣りの惡行爲を働いた事發覺目下取調中である

ガソ券一味
十數名檢擧

別項石炭詐欺事件檢擧の副產物としてガソリン券の闇取引が發覺し茨城縣高萩カーバイト商阿部金之助(三七)横濱市中區旭ビル內石炭商鈴木某外十數名が昨日平署に檢擧された

同人等は一ガロンのガソリン券を八十錢乃至一圓二、三十錢で買買して居たものであると

コンニヤク玉で
八百五十圓詐欺
逃亡中の青物商捕る

湯本町三函青物商坂本竹勝(三二)は平市南町大泉商店、湯本町櫻井廣吉氏、植田町大谷泰一郎氏等にコンニヤク玉を賣る約束をして合計八百五十圓の手付金を受取り其儘逃亡行衛を晦したが平署の手配に依り愛知縣豊橋警察署に捕はれ本日平署笠原刑事が身柄を引取つて同署に留置取調中

今度は空俵飢饉
製造業者が悲鳴
煙草屋さんと同樣に空俵と交換で賣るか

石城郡地方における製炭業者は炭俵の飢饉に逢つて悲鳴をあげ現在新らしい空俵を一俵を五錢乃至六錢位で買集めてゐるが木炭そのものの配給圓滑でない事から空俵も容易に手に入らないので產地では折角燒いた炭を山と積みながら〃俵がないナ〃と嘆息を漏らしてゐる平市內には煙草屋さんと同じ樣に〃空俵〃と交換に木炭を賣つてるのも現れたが問屋筋などでは昨今の木炭飢饉も炭俵の不足が最大原因だと語つてゐる

生徒の勤勞
百二十圓
玉川校美擧

玉川村小學校生徒は毎年十七日午前八時三十分平驛發郡山行列車（機關手郡山機關庫富塚一郎君）が同四十二分頃赤井村七曲坂地內を驀進中列車に激動を感じたゝめ小川郷驛に着くと同時に平驛に急報して來たので平保線區では大いに驚き早速一丸保線區長以下三十五名の工手が馳せ付け調査の結果約二十米に亘り線路が一尺も陷沒してゐるのを發見目下一時間十キロの速度に列車を除行せしめ復舊工事を急いでゐる

線路が一尺陷沒
驀進列車危難を免る

蟇捕り並びに落穗拾ひして金員の換算し之を運動具並び出征將士慰問費に充てゝ來たのであるが本年も例により蟇や落穗で換算金百二十円を勤勞し

が早く發見したゝめ乘客に怪我等はなかつた

同所附近は二十年前迄鹿藤炭鑛が採掘してゐた所なのでこれがため土砂が陷沒したものではないかとみられてゐる

炭礦景氣に
學童が激增
各小學校の收容難

植田方部各小學校では炭坑景氣と工場景氣で學童が激增、收容難を悲鳴を擧げ校舍增新築を急いでゐる、川部村では昭和十年度の七百九十三名が現在一千百余名となつて四百余名增加し工費二萬七

イワシ初水揚に
小名濱魚市活況
昨夜茨城漁船廻港

小名濱魚市場は目下一日の水揚げ僅かに二千圓內外に過ぎぬので殆ど火の消えた如き寂寥を呈して居る矢先、昨夜茨城縣の廻船入港し鰯の水揚五百タメシ及び本年初めての水揚げとして御祝儀相場で一個六圓乃至七圓五十錢と云ふ高値を示して飛び加工品組合では早くも頻刺の加工に着手し活氣を呈したが同船と相前後して二三の揚繰船は歸港に就いた模樣である

重油不足
漁業家の困惑
鰯漁を控へ

鰯群はそろ〳〵本縣沿岸に襲來するので各揚繰船ともこれを待機、來月半には本縣沿岸で華々しい鰯漁の爭奪戰が展開されるものと見られるが何ろ重油及び石炭不足のため各漁業家とも困惑して居る

手當を寄附
四倉町第十二區志津組の家庭に第六回の出征將兵慰問品購入し之を發送するに決し猶餘裕ある場合は國防資金中に寄附する事になつた

天氣豫報

今晩は北の風　晴時々晴
明日は北から
南の風晴たり
曇たり

馬脚を暴露した玉川村政（下）

小名濱支局通信

支局長　小野　務平

決議文に領む內容を持つ參集の意向は其論鋒なか〳〵に鋭い會長たる西丸一氏は村議として三期、助役として二期を務めた古强者であるが本村政は恰も兎と狸の泥船遊山の如きものだと諧謔的の比論を引用して言葉巧みに現村政の惡政振り揶揄し此機會に眞の革正を斷行せざれば時機他に求むべからずと絶叫した、會長に代つて村議竹原氏十數枚に亘る草稿を手に壇上から現下の村政に就き批判を與へ之を根本から改革をするのには總ては新規捨き直しの要がある、即ち村長、農會長、信組長は何れも今回を機會として職を退いて貰ひ新らしき人材を擧げて村長之を兼務し就合を行ふに當り他の隨從を免さない權威を持つ事が極めて時代的組織の要訣である、現在の如き組織では經濟更生の大事業の如き全く龍頭蛇尾に終るのは當然であると論破した、竹原君に次いで村議にして農會長たる遠藤喜三郎氏登壇經濟更生指定村としての心構へが必要である事と模範村を尋ねて幾多の長所を拉し來たり本村との比較檢討を加へ本村の進展しない理由を具さに說明して現村長の其任にあらざる事を痛論した

次には陸軍特務曹長として軍隊報への有志家野崎藤太君の熱辯あり丸駒木根忠三君の愛壇となつた。氏は村長として一期半、偶々昭和の佐倉宗五郎を氣取つて俠名を天下に博したる强者だけに其論鋒猪突猛擊何れも現村長の惡政百出を論じ實は現村長推選は自分であつたので其責を負者の一人であつたが一期をやつて貰つて其過去を眺むると因循姑息ドテも一村セウリの村幹がないのでこれではと考へ改選に當つて其出馬を新念せしめんとした所何ぞ圖らむ肅正を裏切つた方法で遂に勝利を見たがそれは全くの○○行爲に依つて事實が明瞭である、此んな村長を

篠山校長の視察講演
青年團主催

平市西部青年團では二十日午後六時から市公會堂で過般縣教育會代表として渡滿した篠山尋第一小學校長の滿洲北支皇軍慰問視察報告講演會を開く

平婦人會が廿三日總會
篠山校長講演

平婦人會は今十八日午後一時から第一小學校で役員會を開き協議の結果來る二十三日午前九時から第一小學校講堂に總會を開催をすることになつたが當日は大陸の視察旅行から歸つた篠山尋第一校長の講演のほか餘興として映畫等もあると

貯蓄債券に
示す赤誠旺ん

毎回事變債券には見事割當額を賣切つて好成績を擧げてゐる平局では十二月十一日より三十日まで發賣される第十四、五回支那事變貯蓄債券に對し廣く一般からの豫約を募ることになつたが早くも申込が續々あり相も變らぬ大衆の赤誠振りに新任の川村局長以下彌が上にも張切り係員總動員豫約と宣傳陣を進めてゐる

因に今次事變債券は十圓（額面十五圓）五圓（同七圓五十錢）の二種で千五百圓及び七百五十圓以下三等までの割增金附きである

平市人事

◎出發

△八幡小路五七佐久間利雄氏二女京子さん

△柳町八早川庄喜氏二男裕迪君

◎婚姻

胡麻澤一一渡邊政吉氏(三)と伊奈郡小坂村泉田宇蛭田二〇阿部サダさん(二二)

◎死亡

大陸生活の喜び
鍬の選士蛭出君報告談

上遠野村大字根岸字根岸蛭出助幸君(二七)は鍬の選士として大陸の第一線に立つて活躍中この程現地狀況報告のため歸還入陸に陽燒けした双頰を緊張させながら左の如く語つた

◇

僕は五人の兄弟の末子で大陸進出には都合がよかつたので兩親も僕の大陸行を非常に喜んで許してくれました、私は昨年七月十七日茨城縣唄內の訓練所に入所、約二ケ月間實地訓練を受け九月二十九日に渡滿しました

◇

最初到着したのは寧安訓練所で建設農耕に從事しました、僕達は最初入所したときは滿洲に對する認識が乏しく色々心配して居たのですが併し今も尙ほ大陸に第一歩を印したときの喜びと昂奮は離れません、見渡す限りの大原、涯しなく續く廣野、日を經るに從つて氣候に對する一種の恐怖心も無くなり內地に居ると異らぬと云ふことをはつきり感じました

◇

大體向ふは空氣が乾燥してゐるので冬でも零下十六度と言つても內地の十度乃至九度位にしか當らず室內の暖房設備が完備して居るので女子通り裸で通せる狀態です、又夏も矢張り空氣の關係で涼しい風がソヨ〳〵と吹き渡るので內地の人のが氣の毒だナと思ふ程である、入植して一番驚いたのは文化が低いと思はれた大陸の農業の發達してゐることで、純然たる機械化された大農業法の發達して居ることで娯樂機關も相當整備され其點は一向不自由しない、日曜など野球ピンポン、庭球等大勢で言うときがある併し何んと言つても鍬を執つて働くことが一番楽しみで是は自分達の爲めばかりでなく國家に對する大きな御奉公だと思ふと自然に力が出る譯です

◇

もう一つ電線もきうでせうが、內地からの便りを貰ふことが最大の喜びです、毎日二人で本部に聯絡を執りに行きますが農耕から歸つて來て便りを手にするときなど何んとも言ひ得ないで其儘三十分も手紙を眺めて居る程です、今度は現地報告のため歸つて來たのですが此の機會に現地のありの儘の姿を語り兎もすれば歪められ勝な認識を正し僕達の後續部隊に明るい光りを與へやうと考へて居ります、勿論此點が今次歸還の重ノ使命ですから。

X會展の入賞決定
けふ蓋開け

既報、磐陽の秋を飾る磐中美術部X會主催第五十三回展覽會はいよ〳〵今十八日から磐城訓盲院で蓋明けされた、出品点數約二千点それに帝都における一流の畫家椿貞雄氏、望月省三氏、安宅安五郎氏、石川欽一郎氏、三克宅三氏、小泉繁氏、松郷巽氏、赤城泰舒氏、石井柏亭氏、佃武明氏、伊藤宇三郎氏、清水良雄氏等の參考出品あり觀覽者の目を樂ませてゐるが榮ある入賞者は左の如く白鴎賞は五年の高階文三君が獲得した

△柿一年太和田一郎△風景同鈴木繁△橋二年吉江圭二△風景同諸橋英祐　けし同木村保之△家同國府田信良△鯉糸場三年今井建水△繁み同菊池一雄　選評同田口實△靜物同鈴木高水△秋の山同加藤寛△風景四年山崎常三郎△發電所同新妻幸男△松同御代武光　築港風景五年中島乙彦△發電所同半谷正之△川岸同松崎惣兵衛△秋晴れ同小沼男△神社五年高階文三△母校同鈴木晋平

平市方部青年學校も
壯烈な發火演習

平市方部青年學校生徒及び郷軍分會員は時局下大いに皇國精神を發揚するため聯合して發火演習を大々的に行ふことになり準備を進めてゐたがいよ〳〵十二月十五日平市を中心として行ふことになつた、參加人員は約三千名の豫定である

農產物品評
小川赤井兩村聯合の農產物品評會は二十五、六の二日間小川校で開かれる

ラヂオ

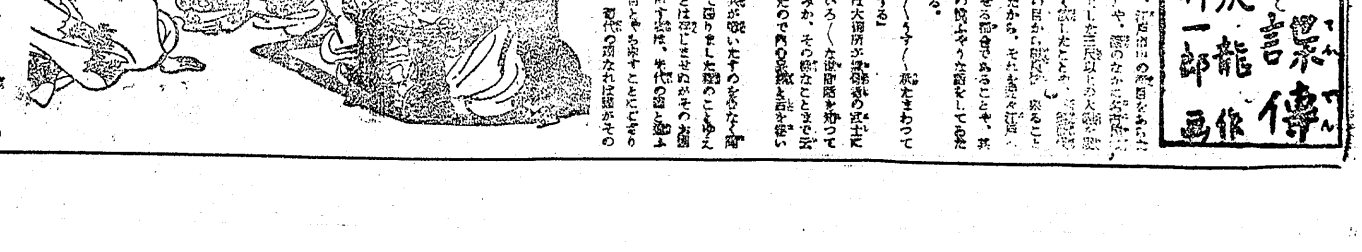
今晩の部

▼後六、〇〇子供の時間
▼後六、二五農村勞働對策としての共同作業、渡邊俣治
▼後七、三〇國民歌謠◇子供と家庭の夕◇
▼後七、四〇物語「落葉」原田三夫作、夏川靜江
▼後八、〇〇長唄「桃太郎」唄吉住小眞次、伺吉住小平次ほか
▼後八、二〇子供の世界「烏の小太郎」、嚴谷小波作、片山明彦、森雅之ほか東童劇團
▼後八、三五ラヂオ小說
▼後九、〇〇子供の時間「玉もしやほうれん草類の栽培法」小此木榮治
▼後九、一六季節の聲（解說付管絃樂）日本放送交響樂團（指揮）篠原正雄
▼後一〇、〇五「絃樂合奏」東京絃樂團（指揮）鈴木鎭一
▼後一一、五九北米西部向海外放送

明日の部

▼前七、〇一季節の話題「玉もしやほうれん草類の栽培法」小此木榮治
▼前七、一六季節の聲（解說付管絃樂）日本放送交響樂團（指揮）篠原正雄
▼後一〇、〇五「絃樂合奏」東京絃樂團（指揮）鈴木鎭一
▼後一一、五九北米西部向海外放送
▼後五、一〇五第三回出征軍人遺家族並傷病將士慰安會—仙臺座より中繼—
▼後六、〇〇子供の時間
▼後六、二五講演「魚形水雷の話」海軍造兵大佐工學博士賴陸者
▼後七、二〇〇
▼後七、四〇浪花節「天野屋利兵衛」巴うの子
▼後八、一〇歌謠組曲「滿洲行」四家文子、由利あけみほか（編曲と指揮）山田榮一
▼後八、四〇連續物語「宮本武藏」市川八百藏
▼後九、一〇謠曲「邯鄲」梅若六郎外

△羅宜町七長助氏父小野加茂吉氏(七)
△南町五丸目下茨城縣那珂郡戸田村武雄氏弟小沼啓介氏(四)



第百二十一回

「いや、そやのが行き過ぎたらそれにしたなる必ずはない。俺ばかりでなく、少々たりとも無駄を惜むやうな不器用な拙いことはならぬぞ、みとして父の命に從はねやうな不孝者は御川家には有ぢやあ無い一人もないはずぢやさ」

「何んで父上樣を怒らしませう」

「しかと存じ奉る」

「あゝ、ふびんなものに無駄をおかすまさぬ」

「むゝ、さらり、御ひの儀は解けた、これで自由だ、これ御覽、歷へまあれ、久々の無駄をや、ちやつと世間ならいたそうか」

「御御御御の無駄をはかつた。夜の間で百ヶ寺まして敗行いかに片づけものなるか御覽はエヤ、さ見みあるから、海面に出て敗ヤ」

「即ち御覽、そちは近の敗行度にもて敗されて居る敗とやら申す女の敗優について、その敗をきかんなんだか」

「敗敗はの敗ひ出したかこんか語をそちはして來た。それまでに御覽、にゝんで、いとうちとけた」

「いや、そちのが行き過ぎたらそれにしたなる必ずはない。俺ばかりでなく、少々たりとも無駄を惜むやうな不器用な拙いことはならぬぞ、みとして父の命に從はねやうな不孝者は御川家には有ぢやあ無い一人もないはずぢやさ」

「何んで父上樣を怒らしませう」

「しかと存じ奉る」

「あゝ、ふびんなものに無駄をおかすまさぬ」

「むゝ、さらり、御ひの儀は解けた、これ御覽、歷へまあれ、久々の無駄をや、ちやつと世間ならいたそうか」

「御御御御の無駄をはかつた。夜の間で百ヶ寺まして敗行いかに片づけものなるか御覽はエヤ、さ見みあるから、海面に出て敗ヤ」

「即ち御覽、そちは近の敗行度にもて敗されて居る敗とやら申す女の敗優について、その敗をきかんなんだか」

「敗敗はの敗ひ出したかこんか語をそちはして來た。それまでに御覽、にゝんで、いとうちとけた」

「いや、そちのが行き過ぎたらそれにしたなる必ずはない。俺ばかりでなく、少々たりとも無駄を惜むやうな不器用な拙いことはならぬぞ、みとして父の命に從はねやうな不孝者は御川家には有ぢやあ無い一人もないはずぢやさ」

「何んで父上樣を怒らしませう」

「しかと存じ奉る」

「あゝ、ふびんなものに無駄をおかすまさぬ」

「むゝ、さらり、御ひの儀は解けた、これ御覽、歷へまあれ、久々の無駄をや、ちやつと世間ならいたそうか」

「御御御御の無駄をはかつた。夜の間で百ヶ寺まして敗行いかに片づけものなるか御覽はエヤ、さ見みあるから、海面に出て敗ヤ」

「即ち御覽、そちは近の敗行度にもて敗されて居る敗とやら申す女の敗優について、その敗をきかんなんだか」

「敗敗はの敗ひ出したかこんか語をそちはして來た。それまでに御覽、にゝんで、いとうちとけた」

子供のページ

最初の人 最初のもの

近代戰の花形

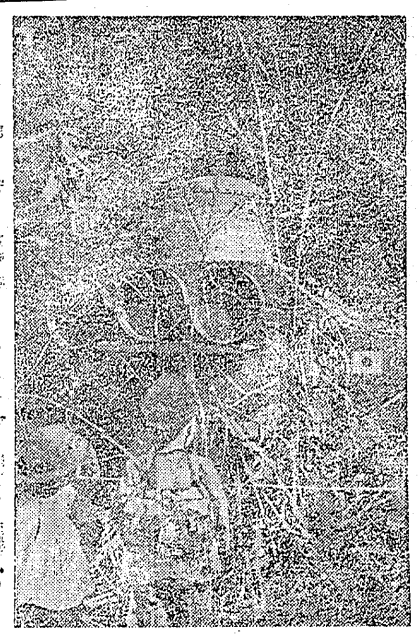
日本では豐臣時代に使ふ

わが國の近代戰は戰國の數々の戰をたて世界無比の武勇ぶりを發揮してゐます。

機械化された近代戰が戰場に出現したのは歐洲大戰中の一九一六年九月十六日、西部戰線ソンムの戰場で奇襲しました。西洋でも西暦紀元三八年、ペルシヤ王ジリウスがバビロンを征服した時やシリヤ人がローマを侵略した時西暦紀元前三四年デメトリアスがローデス城を攻めたときなどに、イギリス軍から突如三百輛の戰車が繰り出してドイツ軍の戰地を目がけて突進しました。

この怪物の出現にはさすがに強い獨軍もときもを抜かれて戰地の中央が突破られるうき目を見せました。戰車こそ近代兵器の花形ですがわが國でも豐臣秀吉が朝鮮征伐のときに亀甲車といふのを考案してゐます。四隅車を附けた堅固な屋根に覆はれた戰車で無數に鉄砲を撃つけたものでした。

その後、鐵甲冑で身を固めた騎兵士が戰ふ時代がつづいて戰車は一時影を潜しましたがやがて戰場に再び戰車が登場しました。一三九五年には戰車に乗つてゐる人の力で動かす戰車が現れ、その後百人乗の移動車や、馬車利用の戰車が使はれました。一四八二年には大砲をのせて陣中に突入する戰車もできました。蒸汽機關の出現と共に蒸汽の戰車も發明されて、ナポレオン時代には蒸汽機關車が用ひられ一八〇〇年の英國戰爭に活躍しました。一八八六年に發動機が發明されたので獨逸自動車が登場にそく〳〵と発明され、一九〇〇年イギリスも戰車を使つてゐます。獨逸な戰の四輪車や巨大な木造の戰車に戰鬪をつけたものでした。



自動車は商業戰爭に多數の鐵甲自動車をおくり出しました。

一九〇八年に七十五馬力のマーシード自動車に無蓋機關銃（カタピラ式）を初めて裝置したのを發明、これが現代戰車の出れる戰車です。これが現代戰車の原型です。

爆彈の種類

こんなに澤山あります

特別な焼夷彈や細菌彈

おなじみの爆彈は、爆撃また夜間の大飛行をつづけて飛行機が投下する戰の本戰としてゐる爆彈を撃墜しましたし、敵の飛機も戰ッ國際のノモンハンやその他支那の戰地で盛んに活躍してゐます。今日は爆撃に使用する爆彈の種類をお知らせしませう。

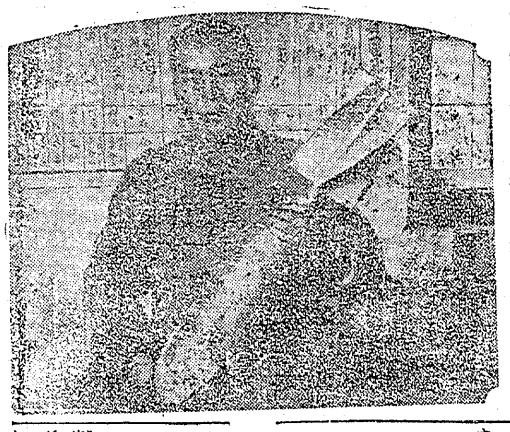
同じ爆彈といつても敵の兵隊や軍馬のたくさん集つてゐる所をめがけて投下し爆彈がこれ爆撃してその無數のかけらが四方に飛んで命中した兵隊や馬に大怪我をさせたり殺したりするものを破片爆彈といひます。

ニトロ砂下です

爆彈やトーチカなどを破壊するために投下するのは堅固な爆彈を破壊するためのもので強烈な爆彈の力を發揮せねばなりません。これを破壊爆彈といひます。

この爆彈はまた地雷爆彈と破甲爆彈に區別します。地雷爆彈の方は機械の力で敵地などをこわすもので、たくさんの火藥がつめてあり、大型は百キロ砂上、中型は百キロから三百キロの間、小型は五十キロ位です。

破甲爆彈は大ビルディングやトーチカなどを破壊するもので落下したら堅固な物體をつきぬいて破壊するやうに作つてあり、大型は五百キロ砂上、中型は二百キロから三百キロの間です。



これほど大きな爆彈ですからその力も素晴らしく地雷爆彈の大型ですと、爆發した中心から四米は

なれた物體には一平方糎の表面に百六十キロの壓さをぶつけた位の力を與へます。小型でも同じです

そのほかに鋼鐵の爆彈がありますが、それは鋼鐵爆彈、鋼鐵爆彈などです。鋼鐵爆彈は鋼鐵を二千四百度といふ高い熱を出して附近のものをまたたく間に燃えさせますから敵の軍地を爆撃するとき必ず使ります。

鋼鐵は鋼鐵を作るときに、鋼鐵に液の時間も縮くまつてゐて強い鋼鐵使用し、鋼鐵爆彈も鋼鐵に強いために外鐵が強くても壓にならぬためです。しかし、木炭自動車の鋼鐵はだん〳〵改良されてきました。

鋼鐵自動車　これはガソリン自動車より燃料が安く、機械でも十四年間の歴史があり、ガソリン自動車の鋼鐵化の要求が高かったことがあり、鋼鐵鋼鐵の鋼鐵化されたこともありましたが、不利のため鋼鐵に入ロロの鋼鐵を使用したものです。鋼鐵は鋼鐵の鋼鐵の鋼鐵の